



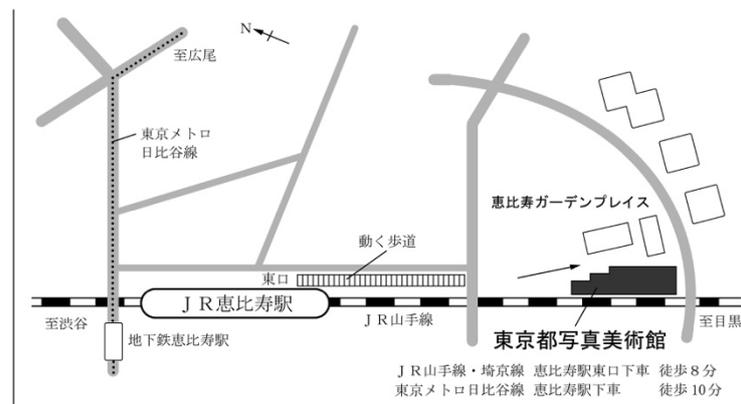
## 令和元年度 画像保存セミナー

日本写真学会画像保存セミナーは、次世代に伝えるべき写真画像およびその他の画像記録物の確実な保存を目指し、そのための知識の普及と技術の確立を目的として開催され、今年で36回目を迎えます。銀塩写真を中心とするフィルムやプリント材料の保存・修復から、デジタル化された画像データの保存や活用まで幅広く取り扱い、参加者の皆様のお役に立てるように、基礎的な知識、最新の情報、活用例など、多岐にわたる内容をお届けしてきました。本年度は、劣化をテーマに保存や再制作の諸問題、劣化の要因、劣化状態の診断、劣化対策としての色管理や再現の試みについてケーススタディを織り交ぜた講演会を企画いたしました。

例年通りセミナー終了後、講演者と参加者が自由に情報や意見の交換をして頂ける懇親会を設けております。画像保存に関心のある方、関連分野の多くの方々のご参加を賜りたく、案内申し上げます。

日時：令和元年11月29日（金）  
10時00分～16時45分 <9:30受付開始>

場所：東京都写真美術館ホール  
東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内



主催 一般社団法人 日本写真学会

協賛 日本写真芸術学会／公益財団法人日本博物館協会  
一般社団法人文化財保存修復学会／文化遺産国際協力コンソーシアム  
公益社団法人日本写真家協会／日本アーカイブス学会  
日本写真保存センター文化財写真技術研究会／情報保存研究会  
一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会／一般社団法人画像電子学会  
一般社団法人日本印刷学会／一般社団法人日本画像学会（予定）

協力 東京都写真美術館

## セミナープログラム

9:30 受付開始

9:55 開会挨拶 セミナー実行委員長

10:00 講演 1. 文化財としての写真原板の活用と写真保存における意義

|

日本大学芸術学部 高橋 則英

10:50

歴史的に貴重な価値をもつ写真ネガ原板にはプリントが現存していないものも少なくない。ここではネガ原板からの同時代技法によるプリントを前提として、国内外における写真原板活用の事例を紹介するとともに、写真保存における意義や今後の課題について述べる。

10:55 講演 2. シカゴ美術館における写真の保存と修復の現状

|

アメリカ文化財保存修復学会 (AIC) 会員 堀田 文

11:30

2018年9月より、シカゴ美術館にて、写真保存・修復の現状を調査すると共に、半年間の研修を受けた。本講演では、世界の美術館に先駆け、1982年に設置されたカラー写真専用収蔵庫を含む保存環境及びシステム、並びに修復家の実務等を中心に報告する。

11:35 講演 3. 「文化財写真の保存に関するガイドライン」の改訂について

|

オリンパス株式会社 吉田 英明

12:10

2012年初版発行の「文化財写真の保存に関するガイドライン」は、記録媒体の劣化や世代交代等による、デジタル写真画像の消失リスクについて警鐘を鳴らし、対策の指針を示すという役割を果たして来た。本講演では、その後の技術進歩や状況変化を反映した最新の改訂版について、要点を説明する。

— 休憩 (80分) —

13:30 講演 4. 化学的分析による写真用 TAC ベースの劣化診断

|

株式会社足柄製作所 山本 大輔

14:20

写真用 TAC ベースの劣化状態を定量的に評価する分析手法と、劣化への対処方法の一例を示す。本手法により、TAC ベースから発生する酢酸ガスだけではなく、TAC ベースの構造や物性に関する知見が得られる。これらの知見を活用した劣化診断システムを提案する。

— 休憩 (20分) —

14:40 講演5. 紙資料および映像のデジタル化における色の再現について

|  
15:40

株式会社インフォマージュ 綿引 雅俊  
国立映画アーカイブ 大関 勝久  
富士フィルム株式会社 山田 誠

本講演では、紙資料を例に、色の再現性をカラーチャートの色差を踏まえて説明し、色調整を前提としたデジタル化の方法についてフラットベッドスキャナやデジタルカメラを例に挙げ紹介する。また映像を例に、フィルムに記録された色のスペクトルを分析することにより、オリジナルの色を再現する方法について紹介する。

15:45 講演6. 芸術の保存と継承

|  
16:35

東京藝術大学 平 論一郎

「いま、ここ」にある芸術を未来に遺し伝える手段として、芸術そのものの保存や修復、複製や復元、再制作や再演、画像や映像による記録がおこなわれる。それら芸術への介入行為を、日本における文化財保護の理念や手法と比較しながら概観する。

16:35 閉会挨拶 日本写真学会会長

- \*各講演時間には質疑・応答の時間を含みます。なお、主催者以外の写真・ビデオの撮影、録音は講演者および他の参加者の迷惑となるだけでなく、著作権の問題を含みますのでご遠慮願います。
- \*閉会后、講演者と参加者の自由な情報交換の場として懇親会（下記参照）を行います。奮ってご参加ください。

---

## 参加申し込みについて

### セミナー参加費（講演要旨集代を含む）

日本写真学会および協賛学協会々員	…………… 6,000 円
非会員	…………… 8,000 円
学 生	…………… 2,000 円

（日本写真学会の賛助会員所属で非個人会員の方の取り扱いに関しては、賛助会費の口数に応じた人数枠に対して申し込み順に会員扱いとなります。枠を超えた分は非会員扱いとなります。会員枠が残っているかどうかにつきましては、ご面倒でも事務局にお問い合わせ下さい。）

**定 員** 180 名（定員になり次第締切りますのでお早めにお申し込み下さい）

**懇親会** 講演者と参加者の自由な討論の場、および参加者相互の情報交換や交流を深める場として、セミナー終了後に下記のとおり懇親会を開きます。参加ご希望の方は郵便振替用紙の該当欄にその旨ご記入の上、会費をお送り下さい。

日時：当日 11 月 29 日 16 時 50 分より  
場所：東京都写真美術館 1F 「MAISON ICHI」  
会費：2,000 円

**申込締切** 令和元年 11 月 22 日（金）  
なお、締切を過ぎても定員を満たしていない場合は申し込みの受付を予定しています。

**申込方法** このプログラムに同封されている郵便振替用紙に、必要事項をご記入の上、セミナー参加費をお振り込み下さい。また、懇親会に参加ご希望の方は会費も合わせお振り込み下さい。  
(郵便局備え付けの振替用紙でもお申し込み頂けます。その際は参加費区分、懇親会参加の有無を通信欄にお書き下さい)

日本写真学会ホームページ <https://www.spj.jp/> から参加申込ができます。トップページの「イベント」よりお入り下さい。その場合でも、参加費のお支払は、上記のように事前に郵便振込みでお願い致します。

なお、一旦振り込まれた参加費の返却は致しかねますので、ご都合が悪くなった場合には代理の方の参加等でご対処をお願い申し上げます。

**送り先** 〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 東京工芸大学内  
(一社) 日本写真学会 Tel. 03-3373-0724  
郵便振替口座番号：00130-6-72818 Fax. 03-3299-5887

#### 画像保存セミナーについて

日本写真学会の画像保存研究会は、保存に関する知識の共有の場として1984年より画像保存セミナーを開催しております。近年では取り巻く環境の変化に合わせて、デジタルアーカイブ研究会とともに画像保存セミナー実行委員会を組織しております。毎年の開催が実現できますのも、過去のセミナーにご参加いただいた皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

#### 日本写真学会にご入会下さい

この機会に、会員でない皆様には当学会に入会されることをおすすめします。セミナー当日、受付に入会申込書がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。また、学会HP(下記URL)からも申し込みます。

年会費： 正会員 8,500円 学生 3,000円

一般社団法人 日本写真学会 事務局  
〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5  
東京工芸大学内  
Tel. 03-3373-0724 Fax. 03-3299-5887  
URL <https://www.spj.jp/>

このセミナーは、下記の組織で企画されました。

#### 一般社団法人 日本写真学会

会長：中野 寧 副会長：加藤 隆志 山田 勝実

#### 画像保存セミナー実行委員会

委員長： 清野 晶宏 (IMAGICA Lab.)

委員： 上田 耕一郎 (東京工芸大学)

大林 賢太郎 (京都造形芸術大学)

柴 光夫 (アルメディアオ)

高橋 則英 (日本大学)

水口 淳 (カメラ・写真技術解説家)

吉田 成 (東京工芸大学)

綿引 雅俊 (インフォマージュ)

大関 勝久 (国立映画アーカイブ)

河野 純一 (日本大学)

白岩 洋子 (白岩修復工房)

谷 昭佳 (東京大学史料編纂所)

山口 孝子 (東京都写真美術館)

吉田 英明 (オリンパス)